



SIS SUMMER SEMINAR

2016 – in 箱根 TOKYO-III

目次

➤ 目次-----	P. 01
➤ 宿泊場所-----	P. 02
➤ 旅行の班編成 - Travel-Group-----	P. 03
➤ 日程 (Schedule)-----	P. 05
➤ 時刻表一覧-----	P. 09
➤ ゼミ (seminar)-----	P. 10
➤ ホテル部屋番号-----	P. 11
➤ 資料-----	P. 12

宿泊場所

宿泊場所：四季の湯強羅 静雲荘



Address : 〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1320

TEL : 0460-82-3591

旅行の班編成 - Travel-Group -

Table-1/2

北千住組	Name	チェック欄					
Teacher	Morimoto-sensei						
(D3)	Hou Hao-san						
(D3)	Maychee LIAN-san						
(D2)	Liu Kai-san						
(D2)	Hao Gong-san						
(D1)	Hepi Hapsari Handayani-san						
(D1)	Lianxiao-san						
(M2)	Wang Ruci-san						
(M2)	Jiao Bolei-sa						
(M2)	Shu Mengyu-san						
(M1)	Ahmed Derdouri-san						
(M1)	Ji Xinmiao-san						
(M1)	Xiaokai Lyu-san						
(M1)	Liu Fei-san						
(RS)	Ye Siyang-san						
(RS)	Zhang Nannan						
(RS)	Ge Yao						
(RS)	Zheng Yingqiu-san						
新宿組	Name	チェック欄					
D1	Kimura-Yusuke						
Guest	Yuki-Iwai						
Extra	Name	チェック欄					
OB	Nobuaki-Oku						
新幹線組	Name	チェック欄					
Teacher	Murayama-sensei						
Teacher	Kusaka-sensei						

Next

旅行の班編成 - Travel-Group

Table-2/2

Transporter	Name	チェック欄					
(D3)	Malinda Siriwardana-san						
(D2)	Matamyo Simwanda-san						
(D1)	Ranagalage Manjula Mahinda-san						
(D1)	Sano Hiroaki-san						
(M2)	Kazuki Takeshita-san						
(M2)	Feng Jinke-san						
(M1)	Darshana Athukorala-san						
(RS)	Tamba Sahr Dauda-san						

Total

- ・北千住組-----18名 → 17名 (変更後)
 - ・新宿組----- 2名
 - ・Extra 組-----1名
 - ・新幹線組-----2名
 - ・運び屋さん----8名 → 7名 (変更後)
- 合計 31名 → 29名 (変更後)

日程(Schedule)①

9/9(Fri) Part1/1

AM		
08:30	つくば駅 (乗車 08:46～区間快速～下車 09:28)	つくば駅～北千住駅
09:30	ロマンスカー (北千住駅) (乗車 09:49～メトロ箱根 21 号～下車 11:52)	車内で各自ランチ (駅弁) を 食べてください
PM		
12:00	箱根登山鉄道 (乗車 12:10～下り～下車 12:49)	箱根湯本駅～強羅駅
13:00	ゼミ開始 (ホテル)	
18:30	ゼミ終了	
19:00	夕食	
21:00	フリータイム	入浴を済ませてください。
22:00	就寝	きちんと寝てください。

日程(Schedule)②

9/10(Sat) Part1/3

AM		
08:00	起きる	荷造りをしてください。
08:30	朝食	食べたい人だけ 食べてください
09:00	荷造り	
09:30	箱根登山鉄道 (乗車 09:36～下り～下車 09:46)	強羅～早雲山
	箱根ロープウェイ (乗車時間 約8分)	早雲山～大涌谷駅
	箱根ロープウェイ (乗車時間 約8分)	大涌谷駅～姥子駅
	箱根ロープウェイ (乗車時間 約8分)	姥子駅～桃源台駅
10:30	芦ノ湖	
10:50	箱根海賊船 (乗船10:50～元箱根行き～下船 11:20)	桃源台港～箱根港
11:20	箱根町港	ランチタイム

日程(Schedule)③

9/10(Sat) Part2/3

PM		
12:30	箱根海賊船 (乗船10:30～元箱根行き～下船 12:40)	徒歩も考えましたが 時間の都合で却下しました。
12:40	箱根神社	元箱根港 下船
13:20	元箱根港 (乗船 13:20～桃源台港～下船 13:50)	元箱根港～桃源台港
14:00	ロープウェイ 乗車時間 約 8 分	桃源台～姥子駅
	ロープウェイ 乗車時間 約 8 分	姥子駅～大涌谷
14:20	大涌谷くろたまご館 約 10 分 滞在	場合によっては 立ち寄りません！
14:30	ロープウェイ 乗車時間 約 8 分	大涌谷～早雲山駅
14:55	箱根登山鉄道 (乗車 14:55～上り～下車 15:05)	早雲山駅～強羅駅
15:05	箱根登山鉄道 (乗車 15:08～上り～下車 15:46)	強羅駅～箱根湯本駅
15:55	箱根登山鉄道 (乗車 15:56～上り～下車 16:11)	箱根湯本駅～小田原駅

日程(Schedule)④

9/10(Sat) Part3/3

PM		
16:15	小田原散策	
16:50	新宿組・解散 (小田原駅発 ロマンズカー) (乗車 17:05～はこね 36 号～下車 18:18)	
17:15	北千住組・小田原出発 (小田原駅発 ロマンズカー) (乗車 17:21～メトロ箱根 24 号～下車 19:06)	
19:20	北千住駅 (乗車 19:41～区間快速～下車 20:15)	

時刻表一覧

Yahoo!路線情報：乗換案内、時刻表、運行情報

<http://transit.yahoo.co.jp/>



新幹線（小田原～新宿方面）

http://ekikara.jp/newdata/ekijikoku/1306011/up1_14206011.htm



箱根登山鉄道（上り・下り）

<http://www.hakone-tozan.co.jp/time/>



箱根海賊船

<http://www.hakone-kankosen.co.jp/timesheet/>



ゼミ (seminar)

時間	学年	名前	備考
13:00-13:10	(D3)	Hou Hao-san	
13:15-13:25	(D3)	Maychee LIAN-san	
13:30-13:40	(D2)	Kimura Yusuke	
13:45-13:55	(D2)	Liu Kai-san	
14:00-14:10	(D2)	Hao Gong-san	
14:15-14:25	(D2)	Matamy Simwanda-san	
14:30-14:45	—	—	休憩 (時間が押していた場合カット)
14:45-14:55	(M2)	Wang Ruci-san	
15:00-15:10	(M2)	Jiao Bolei-san	
15:15-15:25	(M2)	Shu Mengyu-san	
15:30-15:40	(M2)	Kazuki Takeshita-san	
15:45-15:55	(M2)	Feng Jinke-san	
16:00-16:15	—	—	休憩 (時間が押していた場合カット)
16:15-16:20	(D1)	Hepi -san	
16:25-16:30	(D1)	Lianxiao-san	
16:35-16:40	(D1)	Manjula Mahinda-san	
16:45-16:50	(D1)	Sano Hiroaki-san	
16:55-17:00	(M1)	Darshana Athukorala-san	
17:05-17:10	(M1)	Ahmed Derdouri-san	時間が押した場合カット (優先②)
17:15-17:20	(M1)	Ji Xinmiao-san	時間が押した場合カット (優先②)
17:25-17:30	(M1)	Xiaokai Lyu-san	時間が押した場合カット (優先②)
17:35-17:40	(M1)	Liu Fei-san	時間が押した場合カット (優先②)
17:45-17:50	(RS)	Tamba Sahr Dauda-san	時間が押した場合カット (優先①)
17:55-18:00	(RS)	Ye Siyang-san	時間が押した場合カット (優先①)
18:05-18:10	(RS)	Zhang Nannan	時間が押した場合カット (優先①)
18:15-18:20	(RS)	Ge Yao	時間が押した場合カット (優先①)
18:25-18:30	(RS)	Zheng Yingqiu-san	時間が押した場合カット (優先①)

ホテル部屋番号 (Room assignment)

部屋番号 (RoomNumber)	人数 (Number of people)	名前 (Name)
204	1	(Teacher) Murayama-sensei
310	1	(Teacher) Morimoto-sensei
311	1	(Teacher) Kusaka-sensei
301	3	(D2)Kimura-Yusuke / (Guest)Iwai Yuki-san (D3)Hou Hao-san
302	2	(D1)Hepi Hapsari-san (D1) Lianxiao-san
303	3	(D1)Sano Hiroaki-san / (M2) Kazuki Takeshita-san (OB)Oku Nobuaki-san
304	3	(M2) Feng Jinke-san / (M1)Xiaokai Lyu-san (RS) Ye Siyang-san
305	3	(D2)Matamy Simwanda-san / (D2)Liu Kai-san (D2) Hao Gong-san
306	2	(M1)Darshana Athukorala-san (M1)Ahmed Derdouri
307	2	(M1)Ji Xinmiao-san (RS)Zhang Nannan-san
308	2	(M1)Liu Fei (RS) Ge Yao
309	2	(D3)Malinda Siriwardana-san (RS)Tamba Sahr Dauda-san
312	4	(M2)Wang Ruci-san / (M2)Jiao Bolei-san (M2)Shu Mengyu-san / (RS)Zheng Yingqiu-san

箱根に来訪する外国人観光客 ①

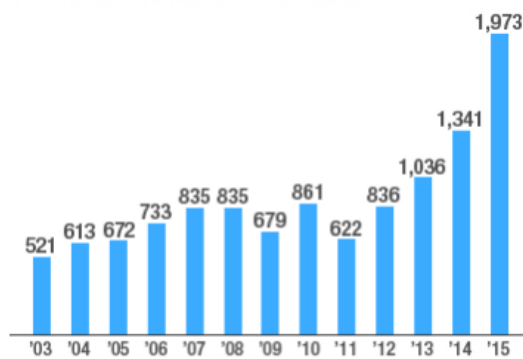
- 「雄大な自然を楽しみながら温泉につかりたい！」
- 「近代的な街並でショッピングや食事を楽しみたい！」
- 「日本情緒あふれる文化遺産に親しみたい！」

——さまざまな目的で、日本を訪れる外国人旅行者が急増しています。箱根もまた例外ではありません。図1に示したように、訪日外国人旅行者数は、増加しています。2015年には1974万人となっております。近年は増加の一途を遂げています。

今後は、マレーシアやインドネシアをはじめとする、ムスリム系の観光客が増加していくことが期待されています。

2007年から小田急トラベルが外国語サイトを開設し、箱根エリアを中心とした企画旅行のオンライン販売を開始しています。

訪日外国人旅行者数の推移(単位:万人)



出典:日本政府観光局(JNTO)
「ビジット・ジャパン事業」がスタートした2003年を境に、大幅に伸長。リーマンショックや震災の影響による一時的な減少もありましたが、東京オリンピックの開催、羽田空港の国際便拡張、富士山の世界遺産登録などを受けて、今後もさらなる拡大が見込まれます。

訪日外国人旅行者の観光目的と小田急沿線の資源

順位	観光目的	小田急沿線周辺の経営資源
1	食事	新宿、箱根、江の島・鎌倉
2	ショッピング	新宿
3	文化・歴史遺産	箱根、江の島・鎌倉
4	自然・景勝地	江の島・鎌倉
5	温泉	箱根

出典:日本政府観光局(JNTO)

図1

著: M1 Ji Xinmiao-san

外国人向けの新サービス ②

かつて外国人リゾート地として名をはせた、国内屈指の観光地・箱根。この地に再び海外からの観光客が殺到しています。世界文化遺産に登録された富士山の眺望や円安効果もあり、箱根登山鉄道の乗客の半数以上が外国人で占められる日もあるほどです。神奈川県箱根町や全国の観光業界は、この追い風を逃すまいと、外国人向けの芸者遊び体験プランや人気アニメとのコラボレーションなど新たなサービス開発に躍起になっています。

①2014年12月下旬、都心発の特急電車が箱根観光の玄関口・箱根湯本駅に到着しました。すると駅構内は外国人客であふれかえり、多くは箱根登山鉄道に乗り換え、箱根の山々へ向かったそうです。

同鉄道会社によると、平日午前の乗客は、半数以上が外国人で占められることもあるとのこと。発着情報をハングルや中国語・英語で表示を行っています。最近では、タイ語のパンフレットも設置されているとのこと。

②「外国人観光客は、週末に集中する日本人のあいまを埋め貴重な存在」（同鉄道会社）。このところから外国人の町内宿泊客数（平成25年）は、円安と東南アジア諸国への査証（ビザ）の発給要件緩和から、前年比80.5%増の16万8千人と過去最多になりました。26年には、さらに増えることが確実視されています。なかでも人気なのは、地下から熱湯がブクブクと湧き出す大涌谷で、「大地のエネルギーを体感できるスポットで外国人は大喜びする！（地元観光関係者）」とのこと。名物・「くろたまご」の販売店でも「ここ数年で片言の英語は必須となった」（同）とコメントがあります。

町では今後、外貨自動両替機の設置や無料の公衆無線LAN「WI-FI（ワイファイ）」の整備を進める方針です。「芸者遊びなど日本の伝統文化を体験できる商品が外国人受けするのではないかと模索もしています。

昨年12月24日、町と包括連携を結んだJTB国内旅行企画の大谷恭久社長は、こう指摘しました。「箱根では、海外でおなじみの『フジヤマ』『ゲイシャ』がそろそろからだ」

早速、この点に着目した箱根の旅館グループが8月12日から、外国人を対象にした「芸者芸能体験プラン」を始めています。国指定登録有形文化財の老舗旅館「塔ノ沢 一の湯本館」で、芸者の三味線にあわせた歌や踊りを気軽に体験できるものです。英語解説も行っており、コンテンツは「伝統」だけではありません。若者に人気のアニメ映画「エヴァンゲリオン新劇場版」の舞台が箱根であることから、町観光協会は同作品とコラボレーションしたイベント開催などを展開しています。

大谷社長は「世界的な日本のアニメ人気を考えると、アニメとのコラボは外国人に受け入れられる可能性が高い」との見方を示しています。

著：M1 Ji Xinmiao-san

外国人観光客の誘致に向けた課題 ③

①外国人の対応力の強化

観光案内所、観光施設等で会話によるコミュニケーションがとれないなどの言語の問題を解決して欲しいと求める声が多く、それらを解決することが課題です。

②多言語表記の案内板等の充実

観光客が不自由を感じることなく、観光施設・飲食店・公共交通などの多言語による案内表示の設置が課題です。そのためには、自治体・民間事業者との連携が必要とされています。

③県外と連携した誘客の強化

著：M1 Ji Xinmiao-san

～東海道の歴史～

箱根（函根）は、静岡県に近い神奈川県南西部の一角に位置し、東京から約 80 キロメートルに距離にあります。隣接する市町村は、北は南足柄市・東は小田原市・南は湯河原町・西は静岡県と 3 市 2 町と接している地域です。

箱根町に人が住み始めたのは、約 1 万 2～3 千年前の先土器時代後期といわれています。7～8 千年前の縄文時代早期頃には、宮城野付近の河岸段丘上に集落ができ、約 2 千年前の弥生時代中期になると、古芦ノ湖の仙石原部分が湿地化し、農耕民が住み始めたようです。

箱根山に街道が開かれたのは、鎌倉時代、湯本から三島に抜ける湯坂道が最初でした。江戸時代の初期になると、湯本から畑宿を経て箱根に通ずる東海道が開通します。後世に「天下の険」といわれるほど、箱根山の往来は困難を極めたもので、徳川幕府は箱根を自然の要塞とみて芦ノ湖畔に関所を設けます。以後、箱根は交通の要衝として、関所を中心に宿場町へと発展することになったのでした。

東海道とのつながりは、箱根の発展とともに緊密になってきたと言えます。律令時代の東海道は、東海道の諸国の国府を駅路で結ぶものでした。各道は、派遣された官人が諸国を巡察する為に整備された道であり、水害や遷都などの原因で何回も変更されたことがありました。中世になると、気候・地勢や利用者・利用目的・整備状況など、さまざまな状況が異なってきます。具体的なルートは、かなりの相違があり古代の東海道は沿岸を通るルートがほとんどでした。

江戸時代に入り、将軍・徳川家康は、1601 年（慶長 6 年）に「五街道整備」に着手します。五つの街道と「宿」を制定し、道としての「東海道」がこの時に誕生し日本橋（江戸）から三条大橋（京都）に至る宿駅は、53 箇所ありました。これがいわゆる東海道五十三次です。また箱根と新居に関所を設け、その後 1603 年（慶長 8 年）には、東海道松並木や一里塚を整備しました。

今の東海道は、関東と関西地方をリンクし新幹線や高速道路もなどのインフラの整備もされており、これは日本の交通大動脈といっても過言でない存在です。このルートを利用して新宿から箱根まで特急列車で 85 分に到着することができるようになり、日帰り観光の利用者も増加しました。



東海道鉄道路線図

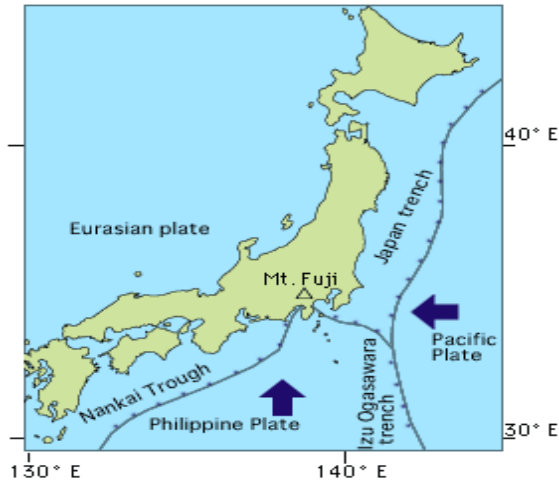
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E6%B5%B7%E9%81%93>



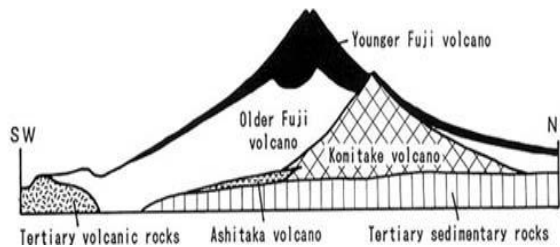
箱根の交通路線図

http://www.hakonenavi.jp/traffic/in_access/about/

Mount Fuji (Fuji-san, 富士山)



Mount Fuji (Fuji-san, 富士山 in Japanese) is the highest volcano and highest peak in Japan and considered one of the 3 Holy Mountains (along with Mount Tate and Mount Haku).

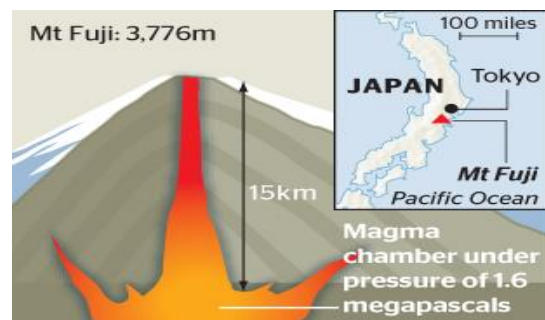


Fuji is a perfect, beautiful stratovolcano about 60 miles south-west of Tokyo, with an exceptionally symmetrical shape making it into famous symbol of Japan and an important element in Japanese art.



It is a popular destination for excursions.

More than 200,000 people climb to the top of the Mt Fuji every year. The last eruption of Mt Fuji was in 1707-08. Between 2000 and 2001, seismic activity under the volcano was at slightly elevated levels, rising concern about a possible reawakening of the volcano.



Background:

Mt Fuji has a complex geologic origin. The large stratovolcano has a base diameter of almost 50 km and culminates in a 500 m wide and 250 m deep summit crater. The volcano overlies several older volcanoes, whose remnants form irregularities on Fuji's symmetrical profile, including Komitake and Ko-Fuji (Older Fuji) which was active 100,000 - 10,000 years ago. The present-day, mainly basaltic chamber started to grow about 11-8,000 years ago when large lava flows were erupted that still form 25% of the volume of the chamber today. From 8000 to 4500 years ago, Fuji's activity was mainly explosive before another effusive cycle took place between 4500 to 3000 years ago. In the past 3000 years, large explosive eruptions occurred in between

phases of milder effusive activity. From 3000 to 2000 years ago, most eruptions took place at the summit, while a large number of flank eruptions occurred during the past 2000 years, forming more than 100 flank cones. The last large new crater on the east flank.

1707 eruption of Mt Fuji

On 26th October 1707, a new eruption announced itself with a large 8.4 magnitude earthquake devastating Honshu island, followed by several smaller earthquakes felt near Mt Fuji.

The eruption started on 16th December 1707 from a new vent on the SE flank of the volcano. Ash fell all over the south Kanto plain, Tokyo, and on areas of the NW Pacific Ocean 280 km from the volcano. The total volume erupted over 16 days was estimated to 0.68 cubic km

confirmed eruption of Mt Fuji took place in 1707 and was Fuji's largest during historical time. It deposited ash as far as present-day Tokyo and formed a

of magma. Violent explosions were recorded until 25-27 December, before the eruption calmed down and ended on 1st January 1708.

Most recent circumstance

Based on information from JMA, reported that 67 earthquakes occurred at Mt. Fuji on 30 April, which was the highest number since 53 earthquakes occurred on 18 December 2000. Activity had been relatively low since January 2001. During 3-9 May ~130 predominately low-frequency earthquakes occurred that were located ~15 km beneath an area just NE of the volcano's summit.

By - Darshana Athukorala

Gora, Ashinoko, Miyanoshita

Gora

Gora is a town of hills and hot springs, located on a gently-sloping mountain in Hakone, one of Japan's leading hot spring resorts. The terminus of the Hakone Tozan Railway, Gora has an abundance of things to see and enjoy, including a park that makes the most of the beautiful natural environment, Japan's first outdoor art museum, and a cable car.

Gora hot spring is the best in Hakone in terms of the number of types of spring water. As the spring quality differs in each part of Gora, it is often described as "the hot spring with five pastel shades." The transparent hot water is soft and gentle on the skin; the yellow hot water leaves the skin velvety-smooth; the milky-white hot water is said to be good for those who feel the cold easily; the deep brown hot water soothes away stress; and the pale green hot water is said to be gentle on the stomach. You'll want to try all five types.



Lake Ashinoko

Today, the Lake Ashinoko with Mount Fuji in the background is the symbol of Hakone. Lake Ashinoko was formed in the caldera of Mount Hakone after the volcano's last eruption 3000 years ago. Located within Hakone National Park with the Mt Fuji as its backdrop, Lake Ashi, also known as Lake Ashinoko, is a scenic spot to take a boat ride and take in the lush mountain views. Considered sacred by the Japanese, Lake Ashi features the famous Hakone Shinto shrine, easily seen from the trails around the water frequented by nature lovers and avid walkers. Tours often combine a Lake Ashi boat cruise and a ride on the Komagatake Ropeway with a visit to Mt Fuji's 5th Station. Families can take a lake cruise on the popular Hakone pirate ship replica.



Miyanoshita

Miyanoshita is an onsen and resort area located in the center of the Hakone, Kanagawa Prefecture, Japan. Miyanoshita is a classy hot spring town, where has been an attraction for tourists for hundreds of years going back to the beginning of the Edo period. The town is situated on a plateau in the Hayakawa River valley. Miyanoshita is one of the Seven Hot Springs of Hakone. In 1873 the Emperor Meiji stayed at a hotel here during his tour of Japan. The town is also home to the Soto temple Josen-ji. If you have the time (and money) it's worth a visit.



Many travelers opt to visit the lake on a day trip via bullet train from Tokyo. The best views of Gora, Lake Ashi, Miyanoshita in combination with Mount Fuji can be enjoyed. The Hakone-Tozan switchback railway zigzags for nearly 9km alongside a ravine from Hakone-Yumoto to the village of Gora. There are small traditional inns and temples at several of the stations along the way, but the single best place to alight is the village onsen resort of Miyanoshita. Interesting antique and craft shops are dotted along its main road, and there are several hiking routes. At the top you'll get a great view of the gorge below. Travelling two

Summer Seminar(Hakone)

M1

LIU FEI

more stops on the Hakone-Tozan railway brings you to Chokoku-no-Mori, where you should alight if you want to visit the nearby Hakone Open-Air Museum. This worthwhile museum is packed with sculptures, ranging from works by Rodin and Giacometti to Michelangelo reproductions and bizarre modern formations scattered across the landscaped grounds, which have lovely views across the mountains to the sea. Tourists can rest between galleries at several restaurants or cafes, and there ' s also a traditional Japanese teahouse here



SIS SUMMER SEMINAR

2016 - IN 箱根 TOKYO-III

Presented by SIS

~~Fin~~

